

スコアシート		実施設計段階				11047				
配慮項目	G	W	R	H	環境配慮設計の概要記入欄	建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
						評価点	重み係数	評価点	重み係数	
Q 建築物の環境品質										3.0
Q1 室内環境							0.30			3.0
1 音環境						1.0	0.15	-	-	1.0
1.1 騒音						1.0	0.40	-	-	
1 室内騒音レベル						1.0	1.00	3.0	-	
2 設備騒音対策						-	-	-	-	
1.2 遮音						1.0	0.40	-	-	
1 開口部遮音性能						1.0	0.60	-	-	
2 界壁遮音性能						1.0	0.40	-	-	
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)						3.0	-	-	-	
4 界床遮音性能(重量衝撃源)						3.0	-	-	-	
1.3 吸音						1.0	0.20	-	-	
2 温熱環境						2.6	0.35	-	-	2.6
2.1 室温制御						3.5	0.50	-	-	
1 室温						3.0	0.38	-	-	
2 負荷変動・追従制御性						-	-	-	-	
3 外皮性能						5.0	0.25	-	-	
4 ゾーン別制御性						3.0	0.38	-	-	
5 温度・湿度制御						-	-	-	-	
6 個別制御						-	-	-	-	
7 時間外空調に対する配慮						-	-	-	-	
8 監視システム						-	-	-	-	
2.2 湿度制御						3.0	0.20	-	-	
2.3 空調方式						1.0	0.30	-	-	
3 光・視環境						3.3	0.25	-	-	3.3
3.1 屋光利用						4.2	0.30	-	-	
1 屋光率						5.0	0.60	-	-	
2 方位別開口						-	-	-	-	
3 屋光利用設備						3.0	0.40	-	-	
3.2 グレア対策						3.0	0.30	-	-	
1 照明器具のグレア						-	-	-	-	
2 屋光制御						3.0	1.00	-	-	
3 映り込み対策						-	-	-	-	
3.3 照度						3.0	0.15	-	-	
3.4 照明制御						3.0	0.25	-	-	
4 空気質環境						4.4	0.25	-	-	4.4
4.1 発生源対策						5.0	0.50	-	-	
1 化学汚染物質						5.0	1.00	-	-	
2 アスベスト対策						-	-	-	-	
3 ダニ・カビ等						-	-	-	-	
4 レジオネラ対策						-	-	-	-	
4.2 換気						3.6	0.30	-	-	
1 換気量						3.0	0.33	-	-	
2 自然換気性能						3.0	0.33	-	-	
3 取り入れ外気への配慮						5.0	0.33	-	-	
4 給気計画						-	-	-	-	
4.3 運用管理						4.0	0.20	-	-	
1 CO ₂ の監視						3.0	0.50	-	-	
2 喫煙の制御						5.0	0.50	-	-	

Q2 サービス性能					—	0.30	-	-	3.2
1 機能性					2.9	0.40	-	-	2.9
1.1 機能性・使いやすさ					3.3	0.40	-	-	
1	広さ・収納性			1人当たりの執務スペースが12㎡以上。	5.0	0.33	-	-	
2	高度情報通信設備対応				1.0	0.33	-	-	
3	バリアフリー計画			川崎市福祉のまちづくり条例整備基準適合。	4.0	0.33	-	-	
1.2 心理性・快適性					2.3	0.30	-	-	
1	広さ感・景観				3.0	0.33	-	-	
2	リフレッシュスペース				3.0	0.33	-	-	
3	内装計画				1.0	0.33	-	-	
1.3 維持管理					3.0	0.30	-	-	
1	維持管理に配慮した設計				3.0	0.50	-	-	
2	維持管理用機能の確保				3.0	0.50	-	-	
3	衛生管理業務				-	-	-	-	
2 耐用性・信頼性					3.4	0.31	-	-	3.4
2.1 耐震・免震					3.8	0.48	-	-	
1	耐震性			重要度係数を1.25とした。	4.0	0.80	-	-	
2	免震・制振性能				3.0	0.20	-	-	
2.2 部品・部材の耐用年数					3.0	0.33	-	-	
1	躯体材料の耐用年数	R			3.0	0.23	-	-	
2	外壁仕上げ材の補修必要間隔	R			2.0	0.23	-	-	
3	主要内装仕上げ材の更新必要間隔	R			3.0	0.09	-	-	
4	空調換気ダクトの更新必要間隔	R			3.0	0.08	-	-	
5	空調・給排水配管の更新必要間隔	R		主要な用途上位3種の、2種類以上にB以上を使用し、Eは不使用。	5.00	0.15	-	-	
6	主要設備機器の更新必要間隔	R			3.0	0.23	-	-	
2.4 信頼性					3.2	0.19	-	-	
1	空調・換気設備				3.0	0.20	-	-	
2	給排水・衛生設備				3.0	0.20	-	-	
3	電気設備			非常用発電機設置。地下に電気室なし。	4.0	0.20	-	-	
4	機械・配管支持方法				3.0	0.20	-	-	
5	通信・情報設備				3.0	0.20	-	-	
3 対応性・更新性					3.4	0.29	-	-	3.4
3.1 空間のゆとり					4.6	0.31	-	-	
1	階高のゆとり			1階:5,000、2,3階:4,500 とした。	5.0	0.60	-	-	
2	空間の形状・自由さ			壁長さ比率0.3未満。	4.0	0.40	-	-	
3.2 荷重のゆとり					3.0	0.31	-	-	
3.3 設備の更新性					3.0	0.38	-	-	
1	空調配管の更新性				3.0	0.17	-	-	
2	給排水管の更新性				3.0	0.17	-	-	
3	電気配線の更新性				3.0	0.11	-	-	
4	通信配線の更新性				3.0	0.11	-	-	
5	設備機器の更新性				3.0	0.22	-	-	
6	バックアップスペース				3.0	0.22	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)					—	0.40	-	-	2.8
1 生物環境の保全と創出				G W H	2.0	0.30	-	-	2.0
2 まちなみ・景観への配慮				G	3.0	0.40	-	-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮					3.5	0.30	-	-	3.5
3.1 地域性への配慮、快適性の向上					5.0	0.50	-	-	
3.2 敷地内温熱環境の向上				G W H	2.0	0.50	-	-	

LR 建築物の環境負荷低減性				-	-	-	-	3.5
LR1 エネルギー				-	0.40	-	-	3.8
1 建物の熱負荷抑制	W		H	-	-	-	-	-
2 自然エネルギー利用				3.0	0.29	-	-	3.0
2.1 自然エネルギーの直接利用	W		H	3.0	0.50	-	-	
2.2 自然エネルギーの変換利用	W		H	3.0	0.50	-	-	
3 設備システムの高効率化	W		H	5.0	0.43	-	-	5.0
ERR=40.7								
3a 集合住宅以外の評価(ERRによる評価)				5.0		-	-	
3b 集合住宅の評価				3.0		-	-	
4 効率的運用				3.0	0.29	-	-	3.0
4.1 モニタリング	W		H	3.0	0.50	-	-	
4.2 運用管理体制	W		H	3.0	0.50	-	-	
LR2 資源・マテリアル				-	0.30	-	-	3.5
1 水資源保護	W		R	3.4	0.15	-	-	3.4
1.1 節水				4.0	0.40	-	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用				3.0	0.60	-	-	
1 雨水利用システム導入の有無				3.0	0.67	-	-	
2 雑排水等利用システム導入の有無				3.0	0.33	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減				3.8	0.63	-	-	3.8
2.1 材料使用量の削減	W		R	2.0	0.07	-	-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用	W		R	3.0	0.25	-	-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用	W		R	3.0	0.21	-	-	
2.4 非構造材料におけるリサイクル材の使用	W		R	5.0	0.21	-	-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材	W		R	-	-	-	-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み	W		R	5.0	0.25	-	-	
OAフロア、ウッドデッキ(プラスチック廃材配合再生木材)、便器(節水器具)								
鉄骨造のため、仕上げ材を乾式工法(LGS下地)で施工でき、部材の分別が容易。								
3 汚染物質含有材料の使用回避				3.0	0.22	-	-	3.0
3.1 有害物質を含まない材料の使用				3.0	0.32	-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避				3.0	0.68	-	-	
1 消火剤	W			-	-	-	-	
2 発泡剤(断熱材等)	W			3.0	0.50	-	-	
3 冷媒	W			3.0	0.50	-	-	
LR3 敷地外環境				-	0.30	-	-	3.0
1 地球温暖化への配慮	W			3.5	0.33	-	-	3.5
空地率を高め、通風を阻害しない建物配置とした。								
2 地域環境への配慮				2.5	0.33	-	-	2.5
2.1 大気汚染防止				3.0	0.25	-	-	
2.2 温熱環境悪化の改善	G	W	H	2.0	0.50	-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制				3.2	0.25	-	-	
1 雨水排水負荷低減			R	3.0	0.25	-	-	
2 汚水処理負荷抑制			R	3.0	0.25	-	-	
3 交通負荷抑制			R	4.0	0.25	-	-	
4 廃棄物処理負荷抑制			R	3.0	0.25	-	-	
駐輪・駐車・荷捌場を設置。								
3 周辺環境への配慮				3.1	0.33	-	-	3.1
3.1 騒音・振動・悪臭の防止				3.0	0.40	-	-	
1 騒音				3.0	1.00	-	-	
2 振動				-	-	-	-	
3 悪臭				-	-	-	-	
3.2 風害・砂塵・日照阻害の抑制				3.0	0.40	-	-	
1 風害の抑制				3.0	0.70	-	-	
2 砂塵の抑制				3.0	-	-	-	
3 日照阻害の抑制				3.0	0.30	-	-	
3.3 光害の抑制				3.7	0.20	-	-	
1 屋外照明及び室内照明のうち外に漏れる光への対策				4.0	0.70	-	-	
2 屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策				3.0	0.30	-	-	
広告物照明がない。								